

R7年度 第1回 コストマネジメント会議

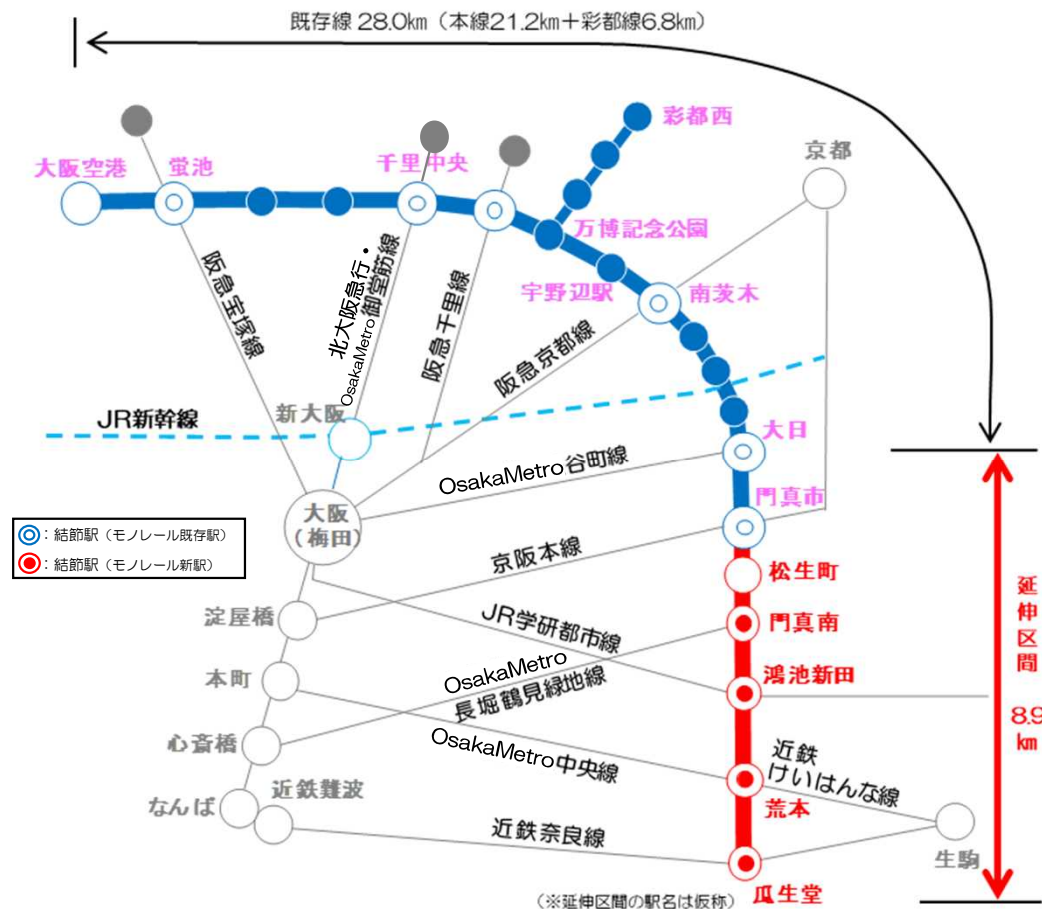
**大阪モノレール延伸事業
(門真市駅～(仮称)瓜生堂駅)**

令和7年7月

■ 事業概要（大阪モノレール延伸事業）

1. 事業概要

- 区間：門真市駅 ～(仮称)瓜生堂駅
- 延長：約8.9km
- 駅数：5 駅
(松生町駅～門真南駅～鴻池新田駅～荒本駅～瓜生堂駅)
※いずれも仮称
- 開業目標：令和15（2033）年度
- 総事業費：約1,442億円
(国：約791億円 府・市：約651億円)
- 事業主体：大阪府（インフラ外部：大阪モノレール(株)）



2. 事業經過

平成28年度	建設事業評価（事前評価）（事業実施の妥当性に関する審議）
令和2年度	都市計画法事業認可・軌道法工事施行認可後に現地着手
令和6年度	建設事業評価（再評価）（※総事業費、開業目標の変更に関する審議）

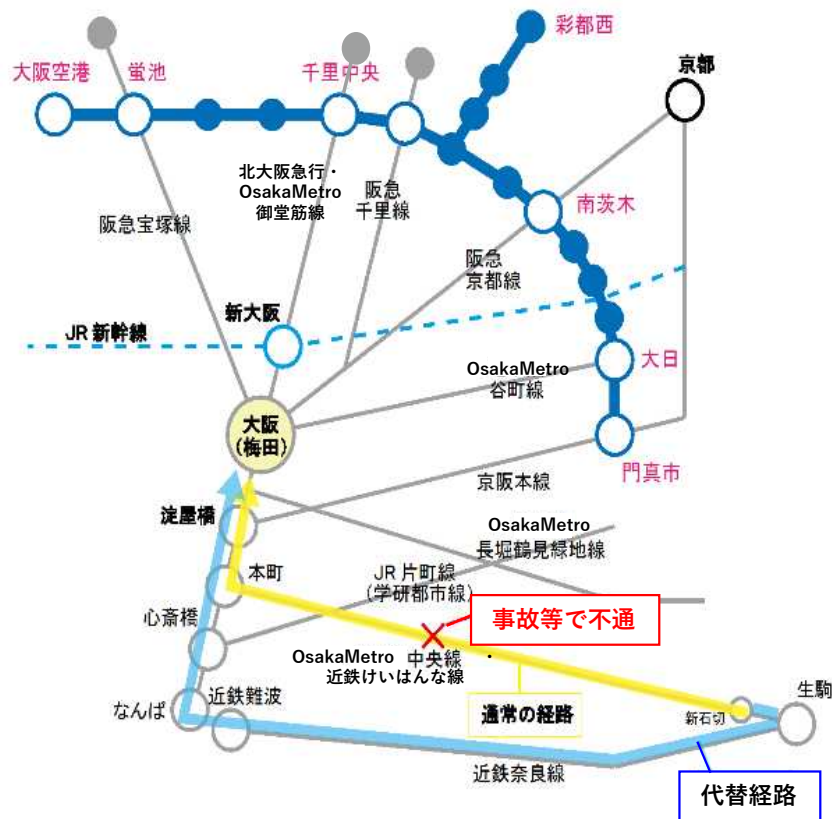
参考HP：https://www.pref.osaka.lg.jp/o130020/jiqyokanri/enjihyoukabukai_r6/index.html

■ 事業概要（大阪モノレール延伸事業）

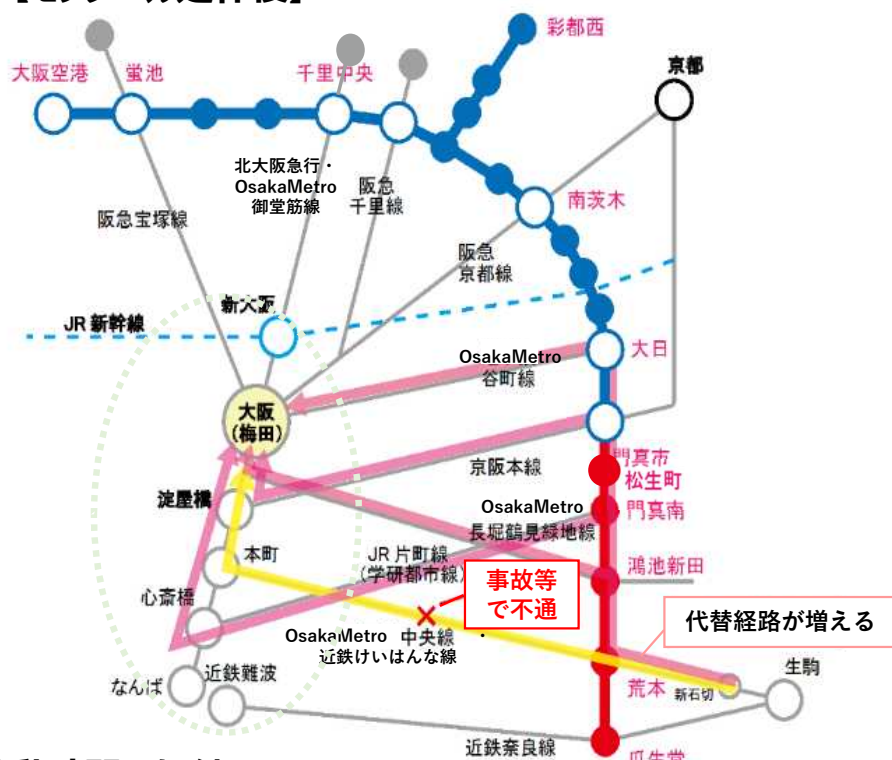
3. 事業目的

- 大阪都心部から放射状に形成された鉄道を環状方向に結節し、大阪府内の鉄道ネットワークを強化する。
- ・新たにOsakaMetro長堀鶴見緑地線、JR学研都市線、近鉄けいはんな線、近鉄奈良線と結節し、在来鉄道10路線とネットワークを形成
 - ・多くの路線とネットワーク化することで、他路線の輸送障害発生時などの交通リダンダンシー確保にも寄与

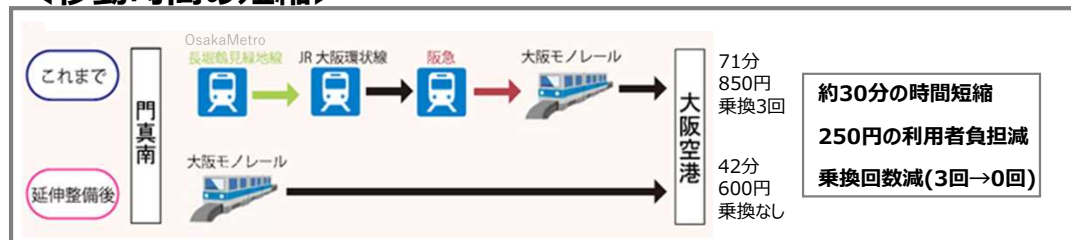
【モノレール延伸前】



【モノレール延伸後】



<移動時間の短縮>



■ 事業進捗状況（大阪モノレール延伸事業）

【進捗状況】

延伸区間の全線にわたって、支柱や軌道桁、駅、車両基地等の建設工事を実施中

【進捗率】

R6年度末時点 予算執行ベース進捗率 約22%（320億円／1,442億円）

詳細設計：約 9 割完了、支柱建設工事：約 7 割発注済



■ 大阪モノレール延伸事業 リスク一覧表

事業費増額のリスク

大項目	項目	小項目	現状	リスク	影響度	発生確率	評価	リスクの早期把握に向けた対応
社会的影響	物価変動	資材・人件費	・物価等は上昇傾向にある。	今後も引き続き5年間物価が上昇する場合。	中	中	3	物価変動状況を注視し、総事業費への影響を把握する。
用地	土地価格等の変更	用地・補償費	・モノレール本線に係る用地買収が完了した。	—	低	低	1	—
工事	地質・地盤	・土壌汚染 ・支持層の相違 ・地下水位 ・軟弱地盤など	・設計に必要な土質調査を実施。 ・一部箇所では既往土質調査内容と相違が発生している。	既往の土質調査で把握しきれない地質・地盤の相違がある場合。	低	高	3	施工時に、既往調査内容と相違がないか常に確認し、リスクの早期把握に努める。
		地中障害物	・事前に地下埋設物等の台帳を確認し、協議を実施。 ・一部箇所では地中残置物が発生している。	想定外の地中残置物や障害物が、工事段階で判明する場合。	低	高	3	施工時に、既往調査内容と相違がないか常に確認し、リスクの早期把握に努める。
	関係機関協議	交通規制（通行止め等）	・事前に警察協議を実施。 ・地元周知の上、規制実施。 ・現在施工中の箇所では、新たに規制条件が変わった箇所はない。	工事段階で、交通規制を条件付けされる場合。	低	中	2	既発注工事でのノウハウ等を踏まえ、早期に詳細協議を行うことで、リスクの早期把握に努める。
		近接防護	・事前に関係機関（高速道路管理者、下水道管理者等）と協議を実施。 ・一部箇所では防護対策内容の変更が発生している。	工事段階で、防護対策を条件付けされる場合。	低	中	2	既発注工事でのノウハウ等を踏まえ、早期に詳細協議を行うことで、リスクの早期把握に努める。

■ 大阪モノレール延伸事業 リスク一覧表

事業期間の延長のリスク

項目	現状	リスク	リスクの早期把握に向けた対応
用地	・モノレール本線に係る用地買収が完了した。	－	－
関係 機関 協議	【地下埋設】 ・支柱位置変更に伴い、新たに地下埋設物の移設を要する箇所あり。 関係機関との調整を進めている。	想定以上に地下埋設物事業者の 移設工事が長引く場合。	各社とスケジュールを共有の上、 移設完了時期を調整し、全体工程 への影響の有無を早期に把握。
	【文化財調査】 ・必要な箇所・範囲で文化財調査を実施中であり、出土状況による追加調査などは発生していない。	文化財の出土状況により、調査 期間が長引く場合。	調査状況を踏まえて、追加調査の 必要性などを確認し、全体工程への 影響の有無を早期に把握。
	【設計協議】 ・駅舎工事時の交通規制範囲や、近接する重要構造物への影響を確認の上、施工方法について関係者協議中。	交通規制協議や近接施工協議によ り、想定以上に施工方法等が制限 され、工期に影響する場合。	交通規制範囲や、近接する重要構 造物への影響を考慮した施工方法 について、早期の関係者協議に努め る。
その 他	【入札不調】 工事発注において、入札不調案件が発生した事例あり。	今後の工事発注で、さらに多くの 入札不調案件が発生する場合。	工事の着手が可能となった案件は、 早期の入札手続き実施に努める。

■ 大阪モノレール延伸事業 リスク一覧表

■ リスクに対する総合評価

● 事業費増額のリスク（発生確率及び影響度を考慮して、総事業費が3割以上増額となるリスク）

・個別リスク

物価変動の項目でリスクが高まっているものの、総事業費へ影響を及ぼすリスクは顕在化していない。

・複合リスク

土質条件などの項目を考慮しても、総事業費へ影響を及ぼすリスクは顕在化していない。

● 事業期間の延長のリスク

事業期間へ影響を及ぼすリスクは顕在化していない。

上記を踏まえ、引き続き、コスト縮減を図りながら、モニタリングを継続するとともに進捗管理を行う。